

パブリックコメント意見一覧表

委員会の検討の在り方	
意見 ・ 質問	
	<ul style="list-style-type: none"> ■ こういう土地があるから、こういう物を造れるというのが基本であり、最初に「整備用地」を検討すべき。 ■ 若者や吉祥寺がごみ減量の課題であるなら、もっと重点的に研究し、対策して欲しい。 ■ 市民参加と言っても 10 名の市民で「ごみ」という大きな問題にどう答申しようというのか。 ■ 委員会の答申では、整備用地がどこであるか確定するのか。 ■ 全市民の問題としているのは良いのだが、具体的にどのように全市的な問題意識を広めていくのか。 ■ 押し付けがましい印象を与えないようにした方が良い。 ■ 広域化の問題や、非焼却などを含めた次世代の事を考えるのであれば、もっと時間をかけて検討すべきである。 ■ 市や市民にごみ減量を求めつつ、国の行政はごみを増やすような動きをしている。平成 25 年に三鷹が焼却施設を造るので、あと 15 年もたせて三鷹の様子を見てから考えてはどうか。
新施設の在り方	
意見 ・ 質問	
	<ul style="list-style-type: none"> ■ 新しいクリーンセンターでは環境を重視するとあるが、排ガス中の CO₂ について気になる。市報にも出てこないが、これから CO₂ を削減するのであれば、現状を知り市民に知らせるべきではないか。また、プラスチック焼却が CO₂ 発生にどう影響しているか。排ガスの掲示板に CO₂ の排出量も出して欲しい。 ■ 煙突が近くにあると不快。夜間に臭いがする。人体への影響が心配。どうして 24 年間「安全・安心」で、公害が無いと言えるのか。資料にある他の施設と比べると、武蔵野市の現状は悪い。明らかに人体への影響がある。他の地域と比べて循環器系の疾患が多いとか、ごみ収集車が多く通ることで交通事故が多いとか、不利益があるのではないか。こういった不利益がないという何らかの検証はしたのか。 ■ 委員会として人体に影響は無いと思っているのか、微量と考えているのか。土壌ダイオキシンのデータについて、こうちゃん公園より中央公園の方が検出量が高いが、これは意味のあるデータだと思う。 ■ 現在運営協議会に含まれていない地域にもっと関わられるようにして欲しい。 ■ 環境健康診断の範囲は地域ではなく、距離で考えてもいいのでは。 ■ 今後 5,000 人の人口増が見込まれる中で、ごみ減量をベースに現行の 3 炉 195 t から 2 炉 120 t にすると言うが、3 炉を建設するという検討はしなかったのか。1 炉あたり 40 t だと焼却効果が落ちるとするのは、どのように研究したのか。現行の 2 ヶ月の休炉期間を無くした上で 1,000 で燃やし続けて大丈夫なのか。 ■ クリーンセンターの近くに住んでいることが、ステータスとなるような付加価値をたくさん持っている施設にするべき。

パブリックコメント意見一覧表

<p>新施設の整備用地選定について、どのように考えるべきであるか</p>	
<p>意見 ・ 質問</p>	
<ul style="list-style-type: none"> ■ 建設時に現施設敷地内東側に建て替え用地を確保しているのだから、そこで建て替えれば良い。 ■ 市役所で収集車の洗車をするなどしているので、市役所に面している現施設敷地内東側に建設すべき。市役所北エリアという設定には抵抗がある。 ■ 市役所北エリアを一体的にという事になると、30～50年後にまた同じ問題が起こるのでは。 ■ 各地でコミセン勉強会をやっているのは評価するが、地元地域に先にしっかり説明をするべき。 ■ 現施設のある地域に建設をすると、60年・100年もあることになりかねない。他の場所に建設して欲しい。 ■ 「ここありき」ではなく、候補地を5箇所くらい出して欲しい。井の頭公園の北側や北町三丁目に広い駐車場がある。検討する必要はある。 ■ まず現クリーンセンター敷地では建て替えを行わないという方向で始めて欲しい。全市民の間で温度差がある。5箇所くらい他の候補地を出すと、その周りの人が関心を持つ。そして、コスト・メリット・デメリットの検討をすると、委員会の考える全市的な取り組みになる。 ■ 周辺地域でさえ建て替えについて伝わっておらず、関心も持たれていない。ごみの分別や減量についても関心を持たせる動機付けが弱い。クリーンセンターが身近に来るとなれば関心は高まる。だから、用地は決定せずもっと検討を行うべき。 ■ 整備用地の選定を1年弱の委員会で行うというのは、あまりに早すぎるのではないかと懸念。 ■ 身近な問題にならないと、自分のこととして考えない。クリーンセンターが近くに出来ることとなって初めてごみの問題を考えるようになり、ごみの集団回収が始まり、減量の意識も高まり、それが次第に市民の間で広がっていった。これは、クリーンセンターができて良かった点なのだが、施設を一箇所に集中するのではなく、ストックヤードなどを分散してみてもどうか。 ■ 「どこに造っても良い施設」を議論しているが、頭では現施設敷地内になっているのではないか。他にもあるかも知れないというが、他の候補地の話は出ない。 	
<p>新施設がまちづくりの中で、どのような役割を果たすべきか</p>	
<p>意見 ・ 質問</p>	
<ul style="list-style-type: none"> ■ 具体的なまちづくりの例を出して欲しい。 ■ 現クリーンセンター敷地内であるなら、緑町三丁目から市役所・グリーンパークの間は広く開いていて、買い物などがしづらい。ムーバスを取り入れることや、関東バスをNTTの裏門や団地の中を通るなどして八幡町の方まで通るルートにすることや、通研とタイアップしてタクシーの待車スペース及びタクシー乗り場を作ることなどが考えられる。 	

パブリックコメント意見一覧表

	<ul style="list-style-type: none"> ■ 現クリーンセンター敷地内で建て替えるのであろうと無かろうと、現施設は解体するのであるの、その際に通研との道路を広げ、歩道・自転車道を作り、道路を含めたまちづくりを周辺住民を含めた議論で行って欲しい。 ■ 「まちづくり」は周辺住民と市が行うべきであり、現委員会にやって欲しくない。 ■ まちづくりは場所が決まったこと。まちづくりにおいては、市民参加の在り方を見直して欲しい。
--	--

その他

意見 ・ 質問

- 今のままなら問題はない。公害が出ないようにしてきたのは良かった。ダイオキシンの問題は建設時からあったが、湿式だから大丈夫と言われていた。しかし、10年前にダイオキシン対策として大工事を行った。それだけお金をかけたのだから、さらに10年くらいもたせることは出来ないのか。もし延命できないのなら、周辺地域にその事をもっと丁寧に説明して欲しい。
- 周辺住民に固定資産税・住民税の軽減、医療費の補助、市のスポーツ施設への優待などを図るべき。
- 今回の勉強会は呼びかけが足りなかった。地域住民にもっと呼びかけるべきである。
- 勉強会への参加者が少ない。広報不足ではないか。行政が市民に、市民が行政に何を求めているのか。
- 建て替えについての具体的な勉強会を地域でもっと頻繁に行って欲しい。
- ごみ減量を市民にお願いする以上、なぜ建て替えが必要で、新施設がどのような役割を果たすのか、なぜ、ごみ減量をしなければならないのかを伝えていかなければならないのでは。
- 市民意見反映のプロセスを丁寧に見せていくことが重要。
- クリーンセンターがこの場所にあると知らない人がほとんど。名前は知っていても、騒音・臭いなどが無いので「ごみ焼却施設」という意識は無い。自分たちに直接被害が無い限り、関心を持たないのが一般市民の感覚。また、ごみの問題について無関心であることが要因。広報をいくら頑張っても、そう効果のあるものではない。
- ここではかなりまめに広報がされている。嫌がる人もいるが、結局そんなに迷惑ではなく、仮住まいの人も多いため、関心が薄いのかと感じた。
- この問題のスピーカーを増やし、どう口コミで広がるかが大切。
- 団地としては、たくさん広報を行っていて、今回もかなり周知した。数打てば当たる的な広報ではなく、興味を持つ内容にしなければならない。「ごみ減量協議会」や「レジ袋削減会議」の活動をクリーンセンターの建て替えにつなげて、有機的に広報できないか。
- 市の広報に頼るだけでなく、各町会の広報などに、目に付くように書くべきでは。
- 「チャレンジ 700g」の700gは分かりづらい。それよりは、「今のごみをさらに減らそう」が良いのでは。
- 武蔵野市は、もっと本腰を入れてごみ減量に取り組まなければならない。個人の努力で

パブリックコメント意見一覧表

全て解決することはできず、啓発だけでは限度があり、損得などで経済誘導を行う仕組みが大事である。

- 市民一人ひとりのごみ減量意識が第一だが、市全体でごみの有価物化へと取り組むべき
- ごみの減量についての議論が多すぎる、他のポジションに任せるべきでは。
- これまで平和に思ってきたのは、市はちゃんとやってくれるのだろうと思っている。運営協議会の役割も、市民の大体の人は知らない。小学校4年生の施設見学などで、市や運営協議会がこれだけやってきたという事を伝えていかなければならない。